



単身高齢者の終活支援を

川畑 京子 議員

問 身寄りのない単身高齢者に向け、横須賀市を参考にした死亡後の手続きの支援はできないか。

答 社会福祉協議会や医療機関、介護事業所等と連携を図りながら終末期の意思決定などの周知啓発、支援を進めていく。



社会福祉協議会 終活相談窓口

自治組織のデジタル化支援を

問 取り組みは。
答 集会所や会館等の施設のデジタル環境整備の実現に向け、自治組織連合会や各自治組織と緊密

に連携を図っていく。

問 デジタル支援専門相談窓口の取り組みは。

答 関連部署と情報共有や連携を図り、自治組織の活動に対する支援を進めていく。

問 市への申請手続等のオンライン化は。

答 オンライン化の実施に向け、進めていく。

带状疱疹ワクチン接種

問 接種費用の助成はできないか。

答 国の議論を注視し、併せて東入間医師会管内に属する富士見市と三芳町の動向を踏まえ、調査・研究に努める。

気象防災アドバイザーの活用を

問 今後の方針は。
答 活用について検討していく。



誰もが移動しやすいまちづくり

古越 孝子 議員

問 令和3年4月に市内の11カ所で実証実験が開始され、市民からの要望をきっかけに令和5年度末時点で26カ所まで拡充している。

答 既存の公共交通を補完する上で重要と考え、新たなステーション設置の要望があった際は、運営事業者等と協議する。



民間バスとふじみん号がタッグを組んで

がん患者の生活の質向上

問 県は、市町村が実施するがん患者支援に対し、生活の質の向上を含めたウェルビーイング支援事業の補助を行っている。本市でも在宅療養に対し助成事業を導入しては。

答 生活の質を向上させるための支援は重要と認識している。県の補助事業の開始を機に、事業の必要性について検討していく。



様々な人が行き交う商店街へ

問 民間のノウハウを活用したまちづくり会社を設立してはどうか。

答 地域経済活性化のためにはまちづくり会社を設立する必要性や効果、可能性も含め、他自治体の状況等も確認し、引き続き



自治組織のデジタル化

加藤 恵一 議員

問 自治組織に市民、市内学生等デジタル支援ボランティアを募っては。

答 文京学院大学と連携を図り、学生ボランティアの支援制度確立に向け、協議をしている。また、専門的な知識を持つ地域の人に講師を依頼し、各自治組織が求める人材等のマッチング支援についても自治組織連合会と連携を図り取り組む。

地域を照らす商店街への支援

問 商店街街路灯、防犯カメラの維持補修への支援と課題は。

答 電気料、LED電球の交換、防犯カメラの修繕の補助を実施し、また街路灯にかかる賠償保険の補助を全14商店会に行っている。

問 課題は、高齢化や後継者不足により会員減少が



商店街をもっと明るく

みんなで盛り上げるふじみ野市の20周年

問 市制施行20周年カウントダウンフォト事業を行っている。

答 市民や団体から募集した写真や一言メッセージをホームページや各種SNS、記念式典等に活用することにより、多くの人が一緒に20周年を盛り上げお祝いできる事業だと考える。実施に向けて進める。



地域経済活性化のために

川島 秀男 議員

問 非常に厳しい状況にある商店街について、市の取り組みは。

答 街の灯を消さないためにも、産業振興課と商工会が一緒に取り組みを進めていく。市としては今の状況を乗り越えられるように支援していきたい。

長引く断水における防災対策として

問 断水時の市民生活を守る上で、家庭用雨水タンクの設置を補助できないか。

答 雨水は衛生面から災害時の生活用水として適しているとは考えていない。

問 本市としては浴槽や簡易容器を用いて、当面の間、必要と思われる水量を確保することを推奨している。



公民館を考えよう会のチラシ設置を拒否

鈴木 啓太郎 議員

問 公民館の廃止に異論を持つ団体が請願を提出し、その議会傍聴を呼びかけたチラシを公民館に置くことを拒否したという。本当か。

答 本チラシは、公民館廃止条例の撤回、上福岡西公民館の存続を望む請願審議の市議会傍聴を呼びかけるもので、趣旨に賛同できないと判断した。教育委員会の後援等の承認に関する要綱第2条の定義に依拠している。



上福岡西公民館

単身高齢者の貧困対策は

問 高齢となつて一人暮らしする人の割合が増えているが対応は。

答 地域包括支援センターを中心に介護予防、地域での孤立対策に加え、生活困窮のおそれがある場合には、関係機関との連携により早期の支援につなげられるようにしている。

障がい者支援の課題を共有

問 自立支援協議会の新たな役割とは。

答 4月より適切支援の課題共有等といった役割が加わり、守秘義務も課せられた。必要な個別の事例について、支援方法の検討を行い、地域課題を整理し部会や協議会につなげていく予定である。



外出の機会を全ての人に

民部 佳代 議員

問 高齢者や障がい者など、外出先でのおむつ替えに利用できるユニバーサルシート(大型ベッド)はどこにあるか。



ユニバーサルシートの普及を

問 市内公共施設では、福岡中央公園に1台、ステラ・イーストに2台、ステラ・ウェストに1台ある。

がん患者の在宅療養支援

問 介護保険が使えない40歳未満のがん患者に、訪問介護や福祉用具の支援を。

答 県の補助事業の開始を機に検討する。

小・中学校の事務の合理化

問 出欠管理や家庭への

問 教材費等のキャッシュレス化も手数料がかかる。市が費用を含めて責任を持つべきでは。
答 児童生徒の安全性や保護者と教職員の双方に負担のない全校統一の集金方法を検討する。